

当院で 2017 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日に食道癌の手術を受けられた患者さんへ研究協力のお願い

承認番号；第 M2020-051-01 番

研究課題名：食道切除術施行時再建胃管の血流評価に関する観察研究

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から 2024 年 3 月 31 日まで

研究目的：食道癌に対しての食道切除術という術式は、手術手技の変遷・向上に伴い、術後合併症発症率が低減されてきているとは言え、依然として他領域の手術と比べて合併症率は高く、その中でも頸部での食道胃管吻合部の縫合不全は重大な合併症と考えられます。我々は以前から吻合部、特に再建胃管の血流異常が縫合不全に寄与しているとの観点から、吻合部血流を評価するために、術中インドシアニンググリーン（以下 ICG）造影検査を併施し、また術後 1 日目、8 日目に上部内視鏡検査を施行することで縫合不全所見の早期発見、対処に努めてきました。

本研究では術中 ICG 検査結果と術後上部内視鏡検査結果を双方向性に確認することで、吻合部の血流評価と、血流低下の原因を明らかにできる可能性があり、今後の縫合不全発症率の低下を目指すことを目的とします。

研究内容：当院にて 2017 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに食道癌に対して食道切除術を受けた患者さんの臨床情報（治療内容、手術時間、合併症、進行度、予後など）を再評価します。情報は個人を特定できない形で使用され、プライバシーは保護されます。なお、本ポスター掲示後に研究についてお問い合わせの有る場合、下記研究責任者までご連絡ください。どの時点でも協力の拒否は可能で、データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますが、以後の診療に関して不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。また、ご自身の個人情報について開示をご希望される場合にもご連絡ください。この研究により一定の成果が得られた場合には、その結果を国内外の学会や論文で発表しますが、患者さんの氏名や個人を特定できる情報は使

用いたしません。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

研究責任者： 東京医科歯科大学病院 光学医療診療部講師 川田研郎

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5254（平日 8:30～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

03-5803-5096（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）」

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。